

# 令和6年度 東京都立江北高等学校 推薦に基づく選抜

## 小論文

### 注 意

- 1 問題は  ,  で、4ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は50分で、終わりは午後1時です。
- 3 声を出して読むではいけません。
- 4 解答用紙は横書きで使用しなさい。
- 5 答えを全て解答用紙にHB又はBの鉛筆（シャープペンシルも可）を使って明確に記入し、解答用紙だけを提出しなさい。
- 6 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 7 受検番号を解答用紙の決められた欄に記入しなさい。



問題は次のページからです

- 1 つぎの資料Ⅰは、日本の高齢化の推移と将来推計である。資料Ⅱは、出生数と\*合計特殊出生率の推移である。資料Ⅲは、世界の高齢化率の推移である。以下の問に答えなさい。

[注] 合計特殊出生率・・・一人の女性（15歳から49歳）が各歳の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数

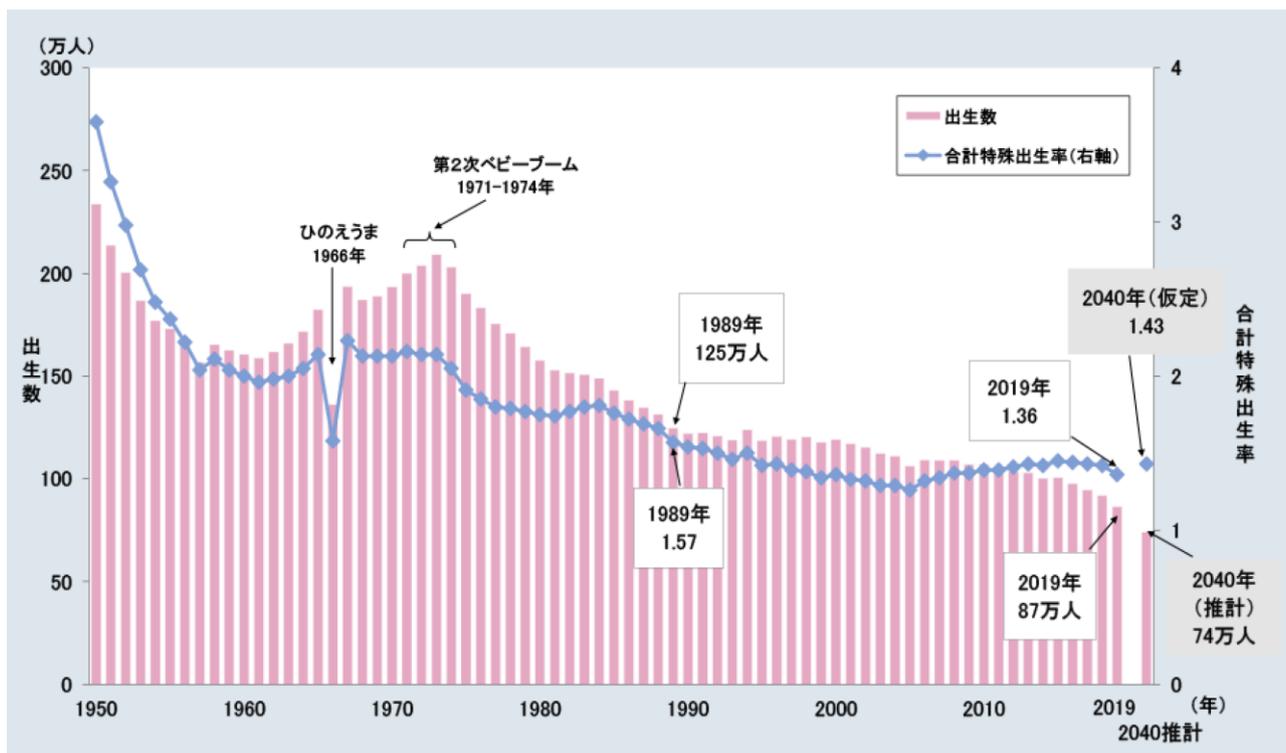
- 問1 資料Ⅰから2030年の総人口に対する65歳以上の割合を%で答えなさい。小数は第2位を四捨五入して、小数第1位で答えなさい。
- 問2 資料Ⅰ、資料Ⅱ、資料Ⅲを活用して、現在の日本の高齢化の状況とその要因および世界と比べた日本の高齢化率の状況について、150字以上200字以内で述べなさい。文字・記号・算用数字は、すべて1字につき1マス使用し、解答欄の1マス目から書き始め、段落分けはしないこと。

資料Ⅰ 日本の高齢化の推移と将来推計（単位：万人）

	15～64歳	65歳以上	総人口数
昭和25（1950）年	5017	416	8411
昭和35（1960）年	6047	540	9430
昭和45（1970）年	7212	739	10467
昭和55（1980）年	7883	1065	11706
平成2（1990）年	8590	1489	12361
平成12（2000）年	8622	2201	12693
平成22（2010）年	8103	2925	12806
令和2（2020）年	7509	3603	12614
令和12（2030）年	6875	3716	11913
令和22（2040）年	5978	3921	11092

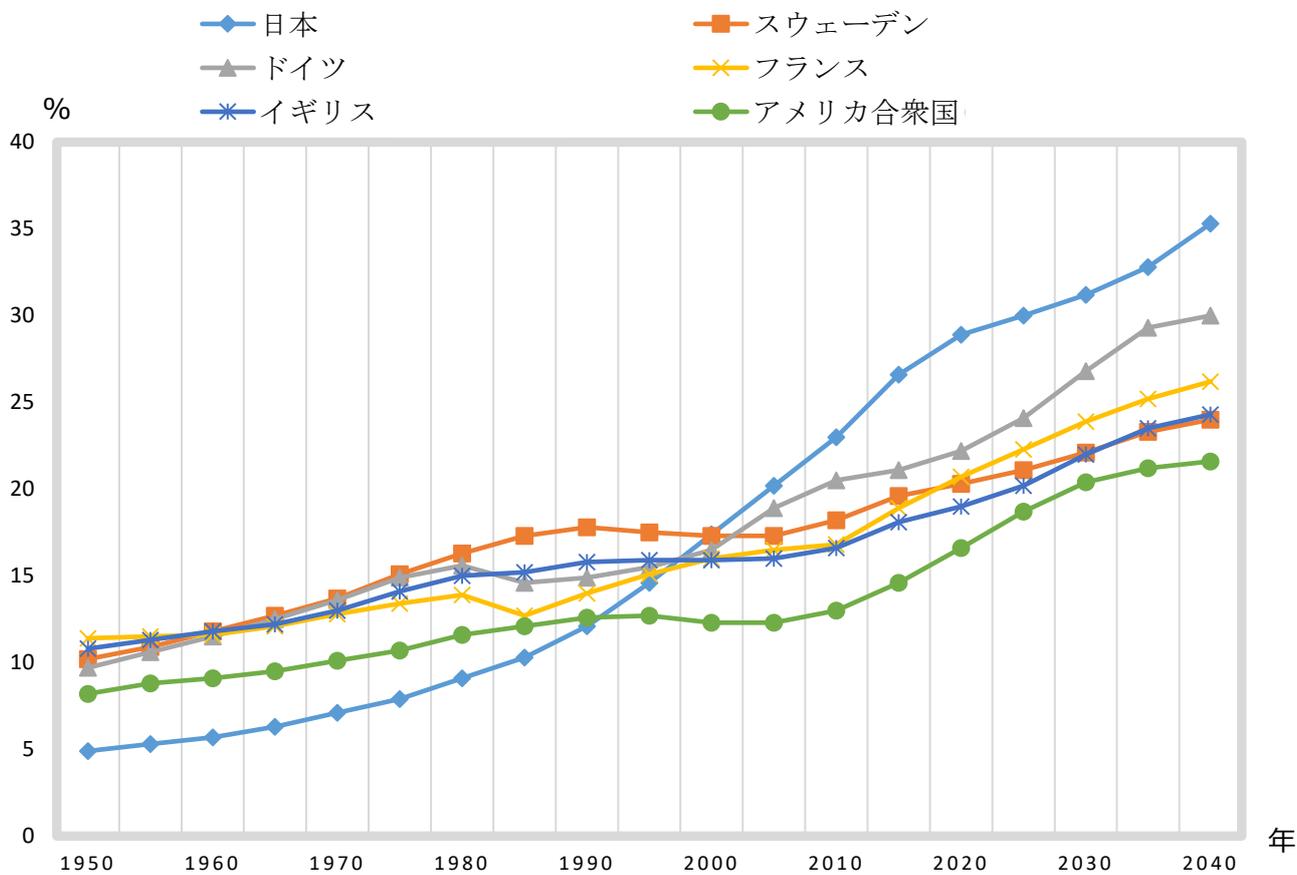
内閣府「令和4年版高齢社会白書」より作成

資料Ⅱ 出生数と合計特殊出生率の推移



内閣府「令和5年版高齢社会白書」

資料Ⅲ 世界の高齢化率の推移



内閣府「令和4年版高齢社会白書」より作成

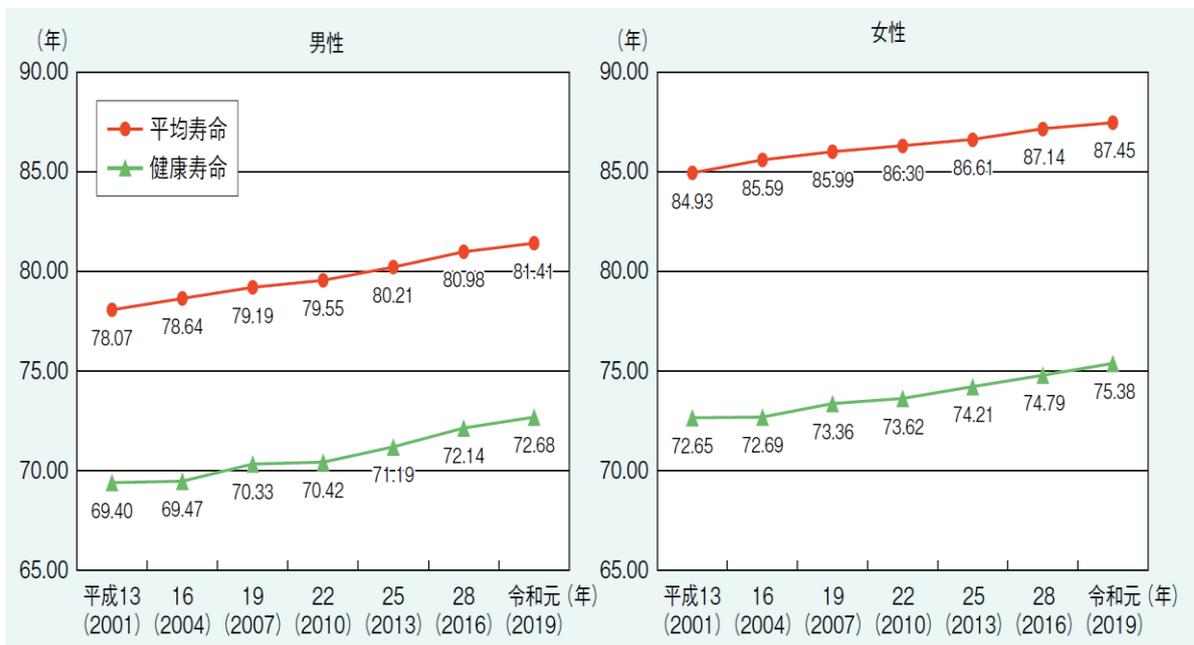
2

つぎの資料Ⅳは、平均寿命と\*健康寿命の推移である。資料Ⅴは、65歳以上人口を生産年齢（15～64歳）で支える割合の推移である。資料Ⅵは、2040年の未来予測 - 科学技術が広げる未来社会 - である。以下の問に答えなさい。

[注] 健康寿命・・・健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間

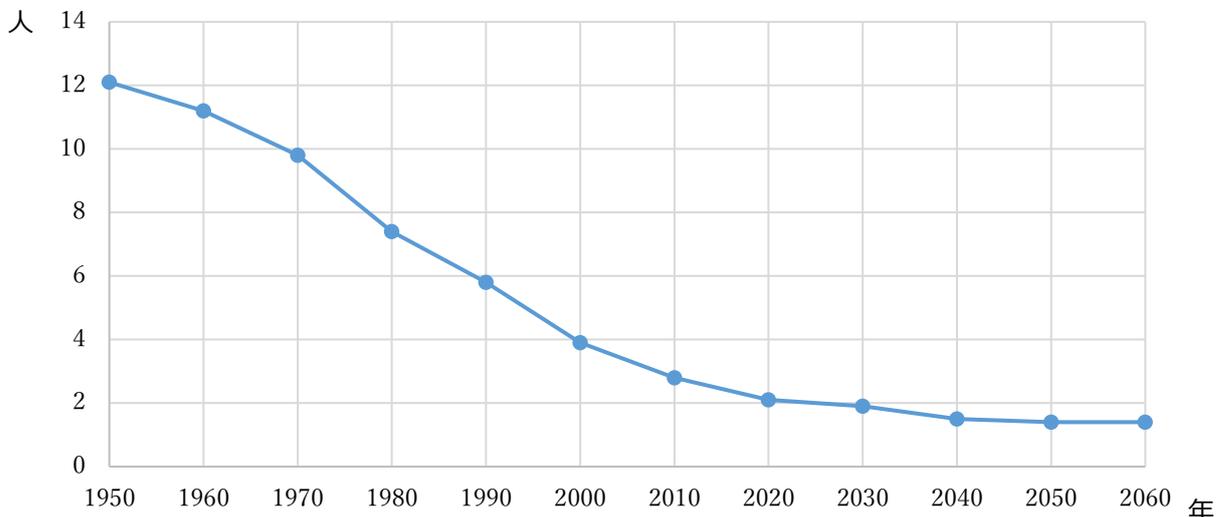
問 日本の少子高齢化は、今後も進むことが予想されています。資料Ⅳ、資料Ⅴを活用したうえで、2040年の社会の状況について述べ、資料Ⅵの**ア～オ**のうちから1つ選び、2040年の社会で、あなたがどのように社会貢献していくかについて300字以上400字以内で述べなさい。文字・記号・算用数字は、すべて1字につき1マス使用し、必要に応じて改行して段落分けしてもかまいません。書き始めや改行の際には1マスを空欄とすること。

資料Ⅳ 平均寿命と健康寿命の推移



厚生労働省「令和4年版厚生労働白書」

資料Ⅴ 65歳以上人口を生産年齢（15～64歳）で支える割合の推移



内閣府「令和4年度高齢社会白書」より作成



文部科学省「令和2年版科学技術白書」より作成

